

令和3年度 全国高等学校教育改革研究協議会 発表資料

令和3年11月25日

- 1 スクールミッション・スクールポリシー策定状況
長野県高等学校「3つの方針」の策定と運用
- 2 高等学校の特色化・魅力化に向けた方策
県立高校「未来の学校」構築事業


令和3年4月 ICT教育推進センター設置！

共に「**高校改革～夢に挑戦する学び～**」実施方針
(平成30年9月県教育委員会策定)において定め
たもの

“未来をつくる”
学びの改革



長野県教育委員会

デザイン制作=高校生× 同学園一丸デザインアカデミー
学び応援キャラクター「信州なび助」©長野県教育委員会信州なび助

長野県高等学校「3つの方針」

「高校改革～夢に挑戦する学び～」実施方針（平成30年9月策定）において、各校の「3つの方針」の策定・運用を定めた。

趣旨

- 各校が、育てたい生徒像（教育目標）に基づいて目指す方向や特色を明確にして教育活動を体系化
- それを、新学習指導要領に示された「社会に開かれた教育課程」や「カリキュラム・マネジメント」の理念のもと、教職員だけでなく、在籍する生徒や保護者、中学生や地域住民と共有しつつ、日常的に改善を図る。

具体的には

○生徒育成方針

高校卒業までに、生徒にどのような力をつけるのか、生徒のどのような力を伸ばすのかを示したものの。

○教育課程編成・実施方針

そのために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施するのかを示したものの。

○生徒募集方針

入学を希望する生徒へのメッセージとして、どのような生徒の入学を待っているのか、自校がどのような学校でどのような学びができるのかを示したものの。

現在の状況

- 平成30年9月 全県立高校に「3つの方針」作成依頼
 - ・各校で「3つの方針」検討・作成
 - ・「3つの方針」を含む、各校のグランドデザインを示す概念図（1枚）を作成 <令和元年度中>
- 令和2年3月 「3つの方針」公表（各校のHPに掲載）
 - ・具体的な教育活動や地域連携等の構築 <令和2年度>
- 令和3年度
 - ・「生徒育成方針」の実効性を評価するフィードバックシステムの構築、試行（令和4年度から本格実施）

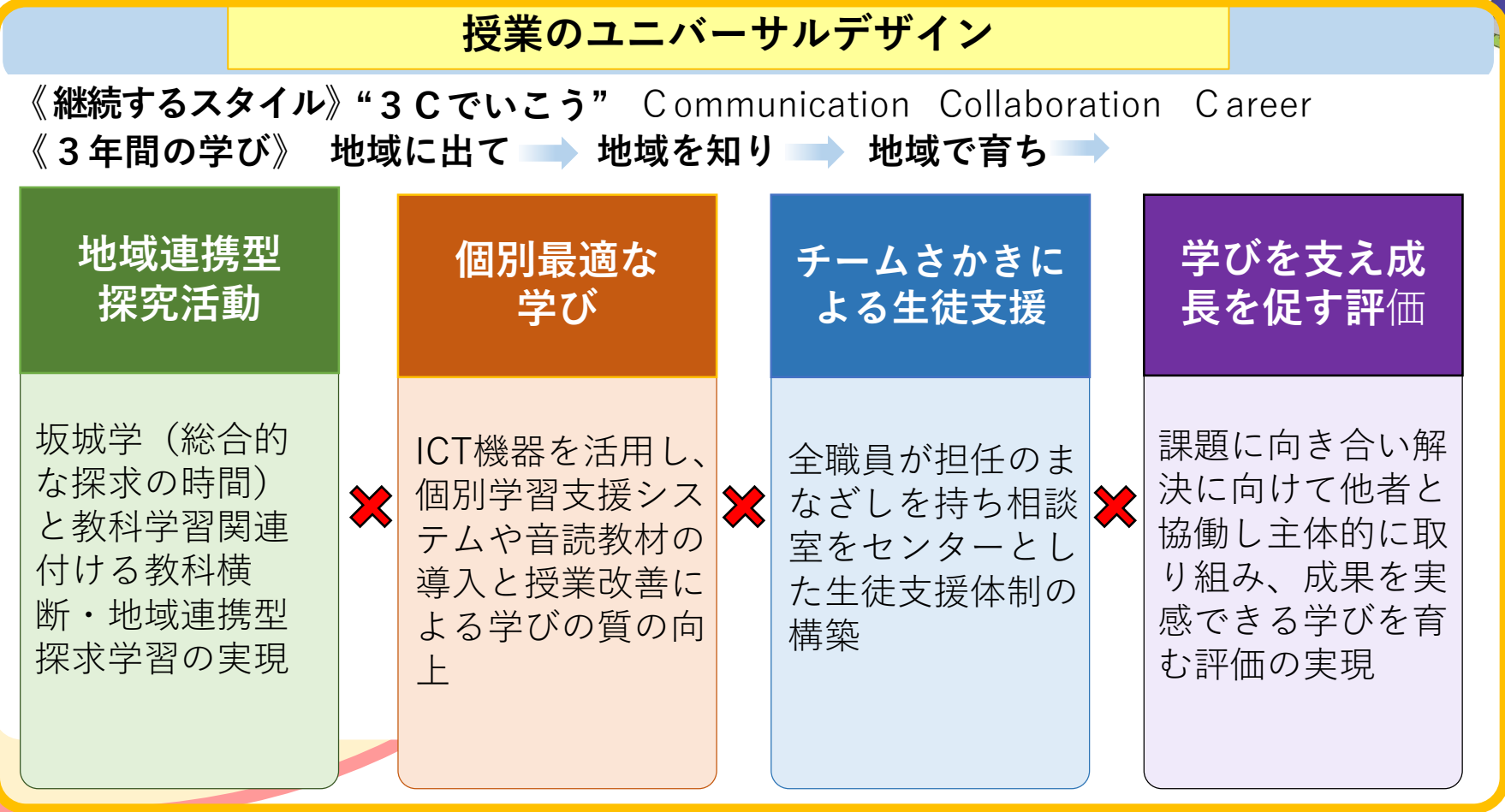
学校目標
生徒育成方針

自らライフキャリアをデザインし地域社会に主体的に関わり貢献できる人の育成

- ・ 自他の大切さを認めチームで活動できる
- ・ 地域の良いを知り情報発信できる
- ・ 社会の一員としての自覚を持って行動できる
- ・ 時代の変化に応じてキャリアデザインできる



実施方針



学びのエンジン (校訓)

心輝く

心を込めて

心を研ぎ

生徒募集方針

- 進路実現に向けて継続的に学習できる生徒
- 地域の体験的な学習に積極的に取り組む生徒
- 学校行事・部活動・生徒会活動に意欲的に取り組む生徒
- 基本的な生活習慣をきちんと守って生活する生徒

○趣旨

全ての県立高校が、「生徒育成方針」の実効性を評価するフィードバックシステムを構築し、その結果を検証することにより、教育課程及び教育活動の改善・見直しを図る。

○システムの内容と構築の方法

- ・ 「生徒育成方針」に示された力がついたかどうかを評価。
- ・ 評価は、卒業生の進路先（大学、短大、専門学校等の進学先及び企業等の就職先）、卒業生や保護者等に依頼する。
- ・ 評価は、進路先に応じて、各校が活用しやすい方法や形式で実施。

「3つの方針」の継続的な検証と改善

○ 「3つの方針」は、教育活動の改善・見直しに向け、PDCAサイクルにより不断に検証と改善を図るとともに、評価・検証についても積極的に情報発信する。

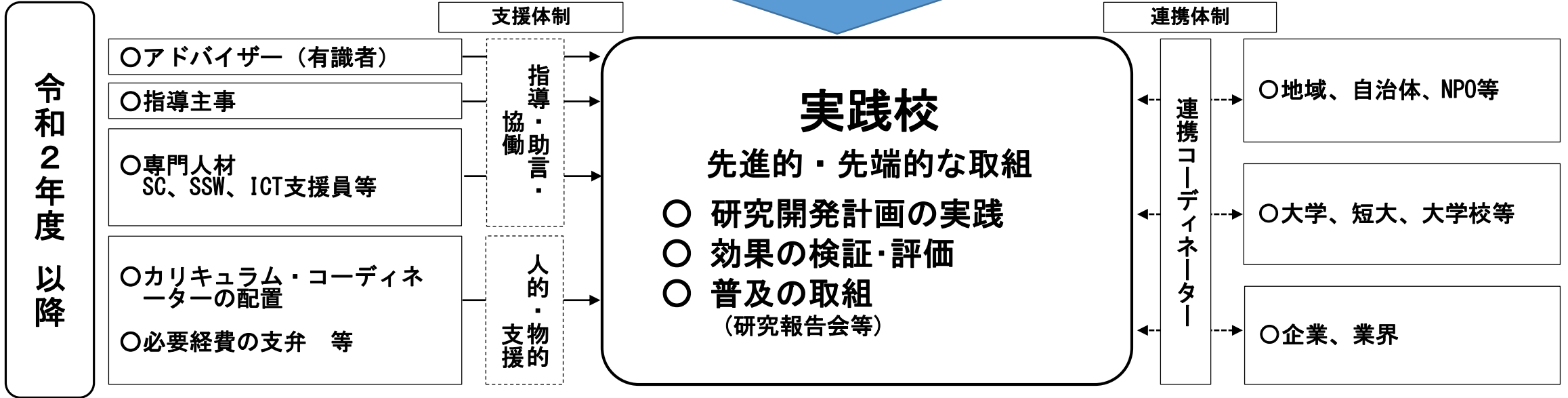
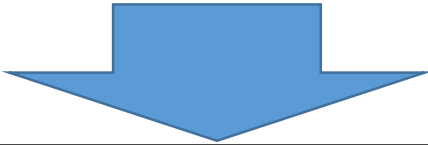
県立高校「未来の学校」構築事業

事業目的

- 「高校改革～夢に挑戦する学び～」実施方針に基づき、「未来の学校」として先進的・先端的な研究開発に取り組む6種別の実践校を指定することにより、県高校教育をけん引する新たな学びの場、学びの仕組みを構築する。
- 令和元年度は研究校を指定し、有識者であるアドバイザーの指導・助言・協働により研究開発計画を作成。この計画を具体的に実践する実践校は、令和2年度以降、概ね5年間研究開発に取り組み、検証・評価を行いながら成果の普及に努める。

全体事業イメージ

(令和元年度)
研究校（6校）が研究開発計画書作成、実践校の決定



「未来の学校」種別	構想及び目標（令和元年3月策定）
<p>卓越した探究的な学びを推進する高校 （スーパー探究校） ＜野沢北高校＞</p>	<p>佐久市内外の病院や企業、大学等と連携し、それぞれの分野の最先端を学びながら、地域や社会の課題解決につながる卓越した探究活動を行い、「広い知識と教養及び未来を担う自覚」「論理的思考力と主体的課題解決能力」等を備えた、地域や日本、世界で活躍し未来社会の核となる人を育成</p>
<p>信州に根ざしたグローバルな学びを推進する高校 （信州グローバルハイスクール）＜須坂高校＞</p>	<p>「地域の知と創造の拠点～大学のないまちの大学のような高校Super Academic High school (SAH)」を目指し、須坂市や国内外の大学等と連携して、世界と地域を関連づけた教科横断的な課題解決型学習や実践的英語学習を行い、グローバルな視野をもちながら地域や社会に貢献できるリーダーを育成</p>
<p>国際的な教育プログラムを研究する高校 （国際教育プログラム研究校）＜飯田風越高校＞</p>	<p>リニア新時代を迎え、地域に根ざしたアイデンティティとグローバルな視野をもって、地域や世界の未来を創造できる人を育成するために、国際的な教育プログラムの長所を活かした独自のカリキュラムや指導・評価法を開発するとともに、他校にも開かれた海外大学進学プログラムを構築</p>
<p>高度な産業教育を推進する高校 （高度産業教育推進校） ＜木曽青峰高校＞</p>	<p>「高校での学び（地元への愛着を深め、自己の生き方をデザインし、木の新たな価値を見出す力等を育む）」と「卒業後の学び」を結びつけ、地元企業や上級学校等と一貫した教育プログラムを構築し、高度な技能・技術と創造性、経営者感覚を備えた、地域の未来を担う産業人を育成</p>
<p>少人数学級を研究する高校 （少人数学級研究校） ＜坂城高校＞</p>	<p>自らキャリアをデザインし、地域社会に主体的に貢献できる人を育成するために、多様な生徒に対応できる「個別最適化学習」や「地域連携型探究活動」等を取り入れた少人数学級のあり方と、教員の指導力を最大限に活かす学校運営のあり方を研究</p>
<p>その他の研究校（自治の追求により骨太のリーダーを育成する高校） （骨太リーダー育成校）＜松本深志高校＞</p>	<p>校是としての“自治”を問い続け、その理想をすべての場面で追求・具現化することにより、高い志や使命感、未解決の課題への挑戦心、学問的真理を追究する意欲等の資質・能力を身につけ、他者と協働して新たな価値や社会を創造できる骨太のリーダーを育成</p>

実践校の取組例

スーパー探究（野沢北）

- ◆地元企業や病院、大学等と日常的に連携し、リアルな地域・社会課題解決に繋がる探究の実践
- ◆持続可能な体制に向けたコンソーシアム構築、コラーニングスペースの整備

信州グローバルハイスクール（須坂）

- ◆外国人講師の集中講座・ワークショップ、国内外で活躍する日本人との対話等を通して英語力+グローバルな視点育成
- ◆哲学対話により、合意形成や問題解決プロセス等を探究活動に活用

国際教育プログラム研究（飯田風越）

- ◆全国の特徴ある国際的な教育プログラムを参考に、全ての教育活動でディプロマポリシーに基づいた指導・評価法へ
- ◆現役海外大学生含む講師による海外大学進学講座の実施（他校へ開放）

高度産業教育推進（木曾青峰）

- ◆哲学・環境（SDGs）・地域理解×デザイン教育の導入
- ◆地元企業や上級学校との一貫した教育プログラムを研究開発。その実現に向けたコンソーシアム構築

少人数学級研究（坂城）

- ◆1人1台端末やEdTechを活用した個別最適な学び、大学生メンターを活用した探究活動等の取組と少人数学級を組み合わせることによる効果検証
- ◆少人数に伴う学校組織の見直し・改善

骨太リーダー育成（松本深志）

- ◆多様な分野からなる信大連携ゼミ、教員企画の教養ゼミを中心とした課題探究
- ◆生徒主体の部活動運営等、生徒が学校づくりに参画。大学研究者との自治に関する研究（生徒の自治力の向上）

県立高校「未来の学校」構築事業

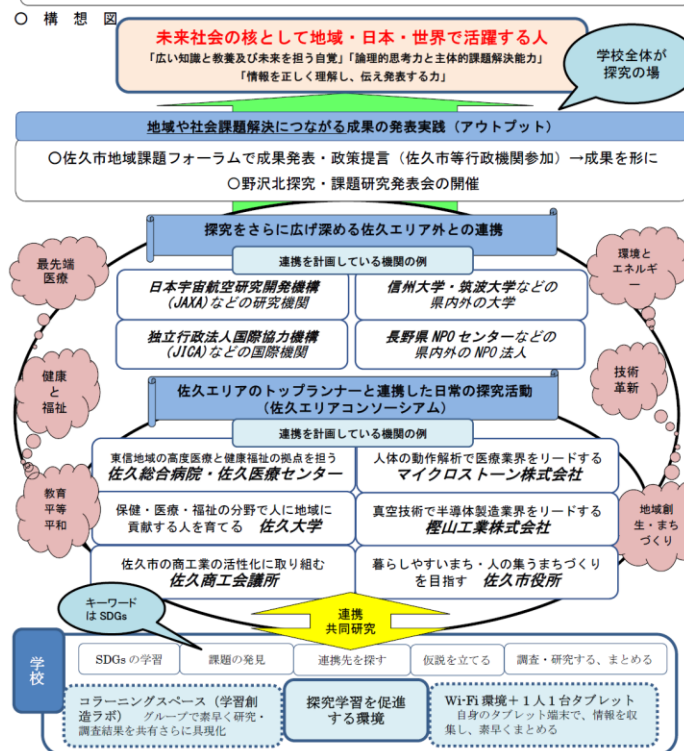
1 卓越した探究的な学びを推進する高校

- 研究の概要
大学・研究機関等と連携して、現代の最先端の学問分野を視野に入れた卓越した探究的な学びを創造することにより、研究に対する意欲と目的意識、社会貢献に対する高い志と広い視野を育む。

【実践校 野沢北高等学校】

- 構想名
SDGsを基に新たな社会や地域の創造につながる、各分野の先進的・先端的な機関との連携による卓越した探究的な学びの創出

- 目標
それぞれの分野をリードする佐久エリア機関との日常的な連携と、探究をさらに広め深めるためのエリア外機関との連携により、最先端を学びながら地域や社会の課題解決につながる卓越した探究活動を通して、「広い知識と教養及び未来を担う自覚」「論理的思考力と主体的課題解決能力」「情報を正しく理解し、伝え発表する力」等を備えた、未来社会の核として地域・日本・世界で活躍する人を育成する。



実践校 6 校の研究開発計画概要図は、県教育委員会のHPに掲載（下記リンク先）※↑は野沢北高校の概要図
<https://www.pref.nagano.lg.jp/kyoiku/koko/gakko/saihen/joho/documents/200324-mirai-gaiyouzu6.pdf>

研究開発の推進及び今後

- 実践校・アドバイザー・指導主事が協働し、研究開発を推進
- 6校合同連絡会（8月）の開催
 - 進捗状況や課題の確認・共有、実践校やアドバイザー間の連携や情報交換
- 成果報告会（2月）を開催
 - 今年度は他校にも公開予定、有効な取組や成果の普及へ
- 令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける中で、当初の研究開発計画にはないオンラインやEdTech等のICTを活用した学びの研究・実践を急速に進めた高校も。
 - 研究開発を日々アップデートしながら「未来の学校」構築と成果の普及へ